

平成28年度 学校自己評価システムシート（県立八潮南高等学校）

目指す学校像	校訓「勉学 誠実 実行」の実践を通して、確かな学力と専門性を身に付け、地域社会に貢献できる人材を育成する
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 心の通う毅然とした生徒指導及び部活動・学校行事の活性化により、生徒の規範意識及び自主的な実践力を高め、社会に貢献できる生徒を育成する。 生徒の主体的な学びを促進し、基礎学力及び資格取得による専門性の向上を図り、進路希望を実現させる。 保護者・地域との連携強化、情報発信の拡大、生徒募集活動の活性化を通して、地域から信頼される学校づくりを実現する。
------	---

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価					年度評価(平成29年1月12日現在)	
年 度 目 標					年度評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	問題行動は微減しているが、心の通った毅然とした生徒指導は継続して必要である。また、交通ルールを遵守する指導も継続する。 学校生活に不安のある生徒に対して校内の相談体制確立と外部との巡回支援体制の連携はかかせない。 部活動の加入率増加のための取組や学校行事の内容改善の定着が課題である。	心の通う毅然とした生徒指導の取組の徹底	①生徒理解に向けた組織的な教育相談を実施する。 ②交通ルールの遵守を朝礼や集会等で周知する。 ③生徒指導部を中心に学年間の連携を密にし、組織的体系的な指導を行う。	①組織的な教育相談ができたか。 ②交通ルール遵守を朝礼や集会等で周知できたか。 ③生徒指導部中心の体制づくりができたか。	心の通う毅然とした生徒指導の取組の徹底をほぼ達成できた。 ①教育相談委員会と巡回支援の先生、スクールカウンセラー、担任の相談体制は構築できた。 ②各月の朝礼時にタイムよく効果的な内容を伝えることができた。 ③学年を中心とした生徒指導体制で昨年より問題行動が減少した。	A
		部活動の活性化と学校行事の改善	①部活動の加入率増加のための取組を実施する。 ②各学校行事の内容を改善して実施する。	①部活動加入率が増加したか。 ②学校行事の内容改善に向けた取組ができたか。	部活動の活性化と学校行事の改善をほぼ達成できた。 ①部活動紹介などに各部活が力を入れ、昨年より運動部中心に増加傾向にある。 ②各行事において生徒会の各委員会が積極的に参加することで行事を盛り上げることができた。文化祭の開会セレモニーも新企画で盛り上がった。また、生徒総会での資料削減などの改善も行うことができた。	A
2	学ぶ意欲の高い生徒や高度な資格取得を実現する生徒が増えている。 基礎学力の向上や資格取得による専門性の向上を目指す生徒の主体的な学びを実現するために、調査前学習時間の確保と授業改善に向けた取組が課題である。	基礎学力の向上と資格取得による進路希望の実現	①「学習の記録」を利用し、学習の振り返りをさせる。 ②実力テストを実施し、その結果を還元、利用する。 ③授業改善に向けた研究授業及び研修を実施する。 ④学校間ネットワークの「学ぶ」意欲を高める取組を実施する。	①「学習の記録」の利用と学習の振り返りを実施できたか。 ②実力テストの実施と結果の還元と利用ができたか。 ③授業改善に向けた研究授業や研修が実施できたか。 ④学校間ネットワークの「学ぶ」意欲を高める取組を実施したか。	基礎学力の向上と資格取得による進路希望の実現がほぼ達成できた。 ①「学習の記録」を5回実施し、生徒自らの学びの振り返りと計画的な家庭学習の実践を推進できた。 ②実力テストの職員研修会(11/24)、生徒対象講演会(12/16)を実施し、教員の情報共有と生徒への還元ができた。 ③年次研修(4回)や未来を拓く学びプロジェクト(9/28)で公開授業を設定し、授業改善に向けた研究協議を行った。 ④他校と各校の取組について情報共有を行った(7/6)。	A
3	小学校や中学校との交流事業を継続し、連携の強化と地域に根差した学校づくりの実現に向けた取組を行う。 生徒の募集活動が倍率に反映する取組が課題である。	保護者、地域との連携強化と情報発信の工夫・改善	①保護者、地域との連携を深める取組を実施する。 ②工夫・改善した情報発信を行う。	①連携を深める取組の実施ができたか。 ②情報発信の工夫・改善ができたか。	保護者、地域との連携強化と情報発信の工夫・改善をほぼ達成できた。 ①ゴミゼロ運動、小学校との交流事業、夏の算数教室、中学校への出前授業、小中校の合同保健委員会など多くの連携を行った。 ②ホームページの更新を頻繁に行い、アクセス数が増加し、1/10現在で72,841件となっている。また、中学校訪問も生徒は母校訪問、教員は八潮、三郷、草加を中心に実施した。	A
		生徒募集活動の活性化	①募集活動の内容を改善する。	①生徒募集活動の内容が改善できて倍率に反映したか。	生徒募集活動の活性化を概ね達成できた。 ①進学フェア、学校説明会では校歌紹介を前面にアピールするなど内容とイメージを一新させ、来場者数を増加させることができたが、本校志願倍率に大きく反映させることはできなかった。	B

学校関係者評価
実施日 平成29年1月24日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>「心の通う毅然とした生徒指導」の評価項目はとても大事である。ぜひ継続してほしい。 学校の外でも挨拶をしっかりとくれる。今後も続けてほしい。 生徒・保護者アンケート結果から目標に向かって努力されているということがよくわかる。フィードバックして欲しい。 部活動が盛んということで活力があってよい。お金がかかるがPTAや後援会等で協力しているが、卒業生に広げてみてはどうだろうか。</p> <p>指定校は増えているのでしょうか？大学受験をチャレンジさせてほしい。資格を取得したいという中学3年生は多いので、PRしてはどうか。 校舎内は掃除が行き届いてきれいです。掃除など基本的なことは頑張ってもらいたい。 進路指導はしっかり取り組んでいる。</p> <p>八潮市は小中一貫の先駆けとして取り組んでいる。年に1回だけでも中高連携をしてはどうだろうか。授業を見学するだけでも意義がある。学校も30年たったので、学校全体のOB会ができるとうい。学校・保護者との連携の結果、HPでPTAのコーナーを新設したり、スクールキャラクターのハッピーをゆるたま応援団に登録した。これからも、学校・保護者・地域との連携は進めてほしい。</p>